

# 新しい文化的な観光資源を目指し

「地域再生のための寄附に関する協定」締結

十三湖岸で風力発電事業を行っている津軽風力発電株式会社と10月13日(水)に、「地域再生のための寄附に関する協定」を締結しました。

この協定は、再生可能エネルギー発電設備の整備と運営を通じて、町が地域再生を目的として実施する事業である宮越家「離れ・庭園」保存・維持管理事業に対し、相互協力に係る基本的な事項を定めるものです。

町長は「宮越家の保存・公開のための支援をいただき、ありがとうございます」と感謝の言葉を述べていました。

協定の相手方である同会社の見上伸代表取締役は「今回の寄附を通して、農家以外の人にはあまりなじみがない十三湖の事業を町民の皆さまにも知っていただきたい。また、宮越家が新しい文化的な観光資源となってほしい」と期待していました。



## 秋の中泊を満喫

第11回大沢内ため池ウォーキング



大沢内地区にあるため池を楽しもうと、10月16日(土)に第11回大沢内ため池ウォーキングが開催されました。

今年はAコースとBコース合わせて約200人が参加しました。

町長は「ゴール地点にはピュアや宮越家の展示もあるのでそちらも見て、秋の中泊を存分に楽しんでほしい」と話しました。

今年もコース内に津軽鉄道乗車が組まれ、秋の車窓を楽しんだ後に、豊かな自然を満喫していました。

ゴール後は豪華特産品などが当たる抽選や特産物直売所ピュアでの買い物、宮越家の展示へ足を運び、町の魅力いっぱいウォーキングイベントに参加者たちは大満足の様子でした。

### 乗って応援!!

令和3年度 目標乗車人数	300,000人
令和3年4月からの 乗車人数	83,459人
目標まであと……	216,541人

津  
軽  
鉄  
道

